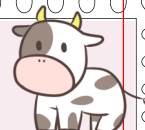




恭賀新年



きね川日記



きね川福祉作業所内の日々の出来事をお伝えします。

2021. 1. 13

＜2021年新年会 一年男をかこんで＞



しあがれ

あけましておめでとうございます。昨年中は、ご家族の皆様にご、暖かいご理解、ご協力をいただき、有り難ございました。

昨年は、新型コロナウイルスの猛威に対応することで一年が過ぎました。登所自粛に協力していただいた利用者さんやご家族の方には大きなストレスだったと思います。また感染防止のために行動が制限され、気をつけて行動していても感染したり、濃厚接触者と認定されて不安を感じたりした方もいらっしゃいました。誰もが始めて体験することばかりでした。現在の3波も変異種の出現や緊急事態宣言がたり、先のことが予測できない状況ですが、病院の医療スタッフの激励に感謝し、粛々と感染防止対策を継続して活動して行きたいと思います。早期のワクチン接種に期待し、沈静化するまで、今後必要不急な外出を避けるなど、みんなで感染拡大に歯止めをかけて行きたいと思います。

今年中には、新型コロナウイルスもある程度の沈静化があるものと思いますが、アフターコロナの状況は予測できないのが現状です。感染防止対策を行いつつ、いままで行ってきた活動で特に利用者の楽しみにしている行事等の活動について、どのような形で実施できるか、昨年の活動内容を元にさらに肉付けできるような形で検討をしていきたいと思います。例年、この時期から職員は今年度の活動の振り返りを行い、次年度の活動計画を作成しています。

昨年12月には、「ぶらすちよいす」でかりんとう饅頭の委託販売も開始しました。これをさらに発展させていきたいと考えております。また、土曜日登所の実現は、課題です。単なるレクでは許可は出ないという東京都の見解です。あきらめずに内容をさらに検討して、いずれ実現していきたいと思えます。利用者一人ひとりの可能性を拓く支援や計画相談を積み上げて次の時代につなげて参りたいと思います。

ご家族の皆様方には、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

施設長 大和田 卓